

第16回国分寺市環境シンポジウム開催

細菌から動植物まで外来生物が自然環境や生活に及ぼしている脅威・影響をどのように防ぐか
みなさん、安全・安心な生活を考えてみませんか！！ (手話通訳あり)

メディア等でコメンテーターとして活躍されている 五箇公一 氏による講演です

テーマ 外来生物～忍び寄る脅威と対策

講師 こかこういち 五箇公一 氏

講演内容

- 外来生物が在来の自然環境や生物に及ぼしている影響や対策
- 外来生物と感染症の関係
- 新型コロナウイルス感染症に関係するウイルスの脅威 など



日時：令和3年1月30日(土) 開演 13時30分(開場 13時)
開場：リオンホール(cocobunji West 5階) 国分寺駅北口すぐ
定員：80人(定員を超えた場合は抽選)

申込方法：往復はがきに、「環境シンポジウム参加希望」・参加者の「氏名」「住所」と「電話番号
またはメールアドレス」を記入して申込先までご送付ください。

同一世帯で申し込みの場合は1枚の往復はがきに全員の氏名も明記してください。
なお、新型コロナ感染症の状況により急遽中止になった場合は市よりご連絡します。
結果は1月18日(月)までに返信用はがきにて通知します。

申込先：〒185-8501 国分寺市 まちづくり計画課 宛

締切日：令和3年1月5日(火) 必着

【新型コロナウイルス感染症対策】

以下の対策を講じます。ご協力をお願いします。

- ご来場時にはマスクの着用をお願いします。
- 入場前に非接触式温度計による検温の実施、なお発熱等の症状が確認された場合には入室することができません。
- 手指のアルコール消毒をお願いします。
- 感染が判明した場合、必要に応じて保健所等の公的機関への個人情報を提供することがあります。
- 1時間経過後に換気を実施(10分程度)。

～講師プロフィール～

五箇公一 氏 農学博士

国立研究開発法人 国立環境研究所

生物・生態系環境研究センター

(生態リスク評価・対策研究室 室長)

農学博士：専門【生物学、農学、化学】

近年は研究活動の他にもテレビなどでコメンテーターとして幅広く活躍中。

著書多数。

【11月のフリートーク】「第二次国分寺市環境基本計画 実施計画の策定について その2」

11月15日(日)環境ひろばで第二次国分寺市環境基本計画実施計画策定(以下「実施計画」という。)にあたり、まちづくり計画課より現時点での以下2点を取りまとめた資料の説明がありました。

①実施計画で規定された各施策がSDGsの目標とどのように整合性を持っているか、また、実施されている各施策とSDGs目標との結び付け。②実施計画に関係する各部署の現時点での実施施策が、継続・変更・中止または完了との判断結果。さらに、上記2点に基づいた中間的考察として、実施計画のたたき台が提示されました。これに基づき、環境ひろばで次回以降、様々な討議が行われます。このたたき台提示により、実施計画策定に際して、個別施策に対する様々な意見が集約できることが期待できます。また、SDGsの目標との整合性の検討が、なされたことは、今後の環境基本計画の策定、その実施計画策定にとって、きわめて重要なことであり、市民一人ひとりがグローバルな観点で、国分寺市の環境施策を理解することができるものと期待されます。

今後のまちの環境をより良くするための充実した討議を次回フリートークで行うことになりました。

市重要史跡：恋ヶ窪村分水の清掃

熊野神社前に江戸時代にできた掘割が市の重要史跡に認定された恋ヶ窪村分水です。この大きな掘割の中を砂川用水から引水された用水が姿見の池に流れていたのです。木立に囲まれた掘割東側の遊歩道が心を癒してくれます。しかし、写真の左側には笹が高さ50cmほどびっしりと茂り、葛がそれを覆うようにはびこり、遊歩道を暗くしていました。「美しい用水の会」の会員12名と市の職員3名で11月9日(月)に2時間以上かけて草を刈り取り、刈った草を市が手配してくれたごみ収集車までブルーシートで運ぶという作業をこなしました。今年7月にも同様の整備作業を行いました。この重要史跡を市民の憩いの場とするためには、春先、夏、秋の3回ほどの作業が必要になると思われます。恋ヶ窪村分水は水こそ流れていませんが、用水としてこれほどの大規模なものは稀で、市の重要史跡となりました。

ぜひ一度この地に足を延ばし先人の歴史を懐古してみてください。

(ひろば会員 佐藤敏臣)



環境ひろばに参加して(学生地域貢献ボランティアよりの寄稿)

環境ひろばでは、環境に関する事を理解するだけでなく、国分寺市の土地利用や現代社会が直面している環境問題を身近なところに置き換えて理解し議論することができました。

議題の中で個人的に一番印象に残った話題は『国分寺市の過去の洪水』についてです。国分寺市では平成12年・平成28年に加え令和2年にも集中豪雨による浸水被害がありました。浸水をはじめとした自然災害はいつ・どこで発生するかわからないもので

す。浸水だけでなく、地震による建物の倒壊や停電といった他の自然災害についても今一度学習し、各々の災害が発生した際には適切な対応をとれるようにしたいと思いました。また、実際に国分寺市内を自転車で回ると数多くの自然を発見することができました。自分が思っていた以上に緑が多く、長閑で過ごしやすい街だなと改めて感じました。1年生の速い段階で国分寺市の環境や土地勘が付いたことを生かして、残りの大学生活を有意義に生活したいと思います。

(東京経済大学 足立昂樹さん)



(あとがき) いうまでもなく、環境基本計画実施計画は、国分寺市民にとって「未来の子どもたちに引き継ぐ、こくぶんじの豊かな環境」を実現するために大切な実施計画です。だからこそ市民が実施計画に着目し、その進捗を常に注視してゆく必要があるものです。環境ひろばはその役割を果たす大切な場であり時間なのです。多くの皆さまの参加をお願いします。大いに討議しましょう。(佐藤)

国分寺市環境ひろば
事務局

国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課
〒185-8501

国分寺市戸倉1-6-1

TEL 042-328-2192

FAX 042-324-0160

Eメール:machikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp